

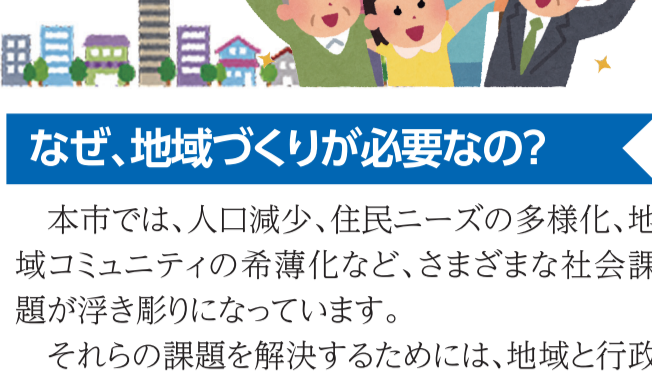
地域づくりの取り組みを紹介 Part1



本市では、「私たちのまちは、私たちの手で」をキャッチフレーズに、地域づくりを推進しています。2回にわたって、地域づくりについてや各地域の取り組みを紹介します。

地域づくりって？

子どもから高齢者まで、いつまでも笑顔で暮らせる住みよいまちをつくるため、住民の皆さんがそれぞれの特性を生かして、知恵と工夫と「お互いさま」の気持ちで取り組む活動です。

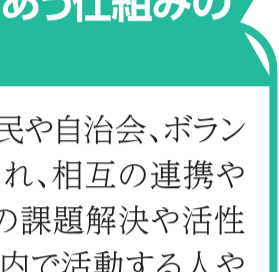


なぜ、地域づくりが必要なの？

本市では、人口減少、住民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化など、さまざまな社会課題が浮き彫りになっています。

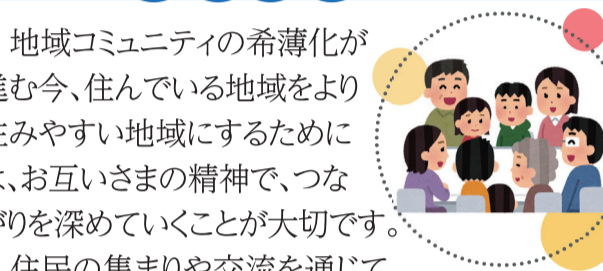
それらの課題を解決するためには、地域と行政が力を合わせる必要があります。

本市では、地域づくりに取り組む市内の「地域づくり協議会」を「協働のパートナー」と位置付け、共に地域づくりを推進しています。



互いにつながり、支えあう仕組みの「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、住民や自治会、ボランティア、PTAなどで構成され、相互の連携や話し合いなどにより、地域の課題解決や活性化を図る団体であり、地域内で活動する人や団体をつなぐネットワークです。



地域のつながりを大切に

地域コミュニティの希薄化が進む今、住んでいる地域をより住みやすい地域にするためには、お互いさまの精神で、つながりを深めていくことが大切です。



住民の集まりや交流を通じて、課題を解決しようと、みんなで主体的に行動することが、住みよいまちにつながります。

すずか市民活動情報広場

地域づくり協議会や市民活動団体に関する情報やイベントについてお知らせしています。ぜひご覧ください。

今年度実施された、地域が

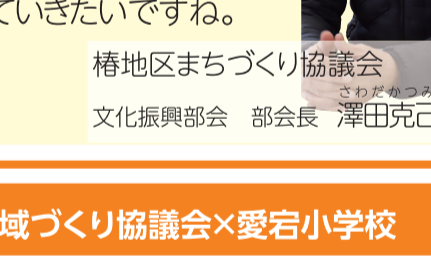
つながる地域づくりの活動を紹介します

椿地区まちづくり協議会×椿小学校

地域交流事業 農業体験

毎年、椿地区まちづくり協議会文化振興部会と椿小学校4年生が、学習授業の一環として「地域交流事業」を実施し、交流を深めています。

今年度は青パパイヤの植え込みと収穫を実施。地域の皆さんがつながるきっかけとなりました。

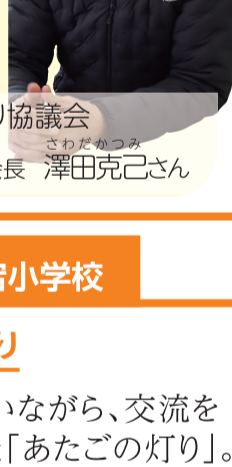


▲児童と地域の方が協力して青パパイヤを収穫

この事業は、子どもを含めた地域住民の交流の場になっていて、まちの活気につながっています。

来年度も参加する皆さんが楽しめるような企画を行ってほしいですね。

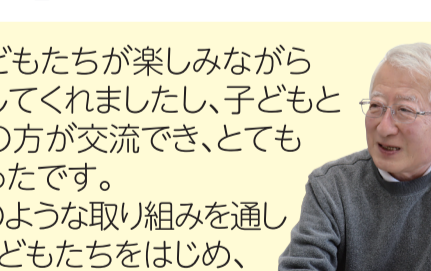
椿地区まちづくり協議会 文化振興部会 部会長 澤田克己さん



愛宕地域づくり協議会×愛宕小学校

あたごの灯り

地域の方に楽しんでもらいながら、交流を深めてもらうため開催された「あたごの灯り」。愛宕小学校児童のデザインをもとに、5・6年生の有志で構成される「あたごっちボランティア」によってキャンドルライトが並べられました。たくさんの方が来場し、大盛況となりました。

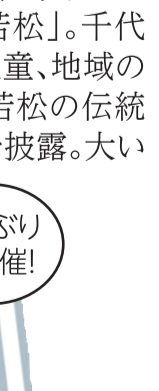


▲小学校校舎3階から見たキャンドルライト

子どもたちが楽しみながら参加してくれましたし、子どもと地域の方が交流でき、とても良かったです。

このような取り組みを通して、子どもたちをはじめ、地域全体が生き生きできるまちにしていき

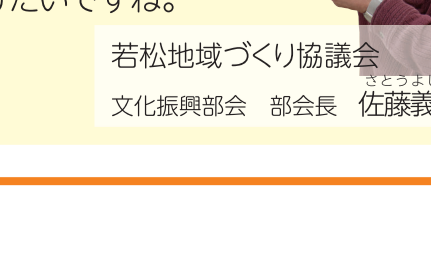
たいですね。 愛宕地域づくり協議会



若松地域づくり協議会×千代崎中学校×若松小学校

ふれあいフェスタ若松

住民同士のふれあいの場や活動発表の場とするとともに、若松の伝統文化を伝承するため開催された「ふれあいフェスタ若松」。千代崎中学校の生徒、若松小学校の児童、地域の皆さんが演奏や演技をしたほか、若松の伝統文化である光太夫太鼓や獅子舞を披露。大いに盛り上がりを見せました。



▲若松小学校5年生による光太夫太鼓の演奏

住民が、やりがいや楽しさを感じながら、一体となれるフェスタを開催できました。

今後も住民の絆を深める場、伝統文化継承の場として継続し、まちの活性化につなげたいですね。

若松地域づくり協議会 文化振興部会 部会長 佐藤義雄さん

